



年初め恒例の
賀詞交歓会

平成二十七年一月一日
(木曜日) 每年恒例の賀詞
交歓会が行われました。今
年は例年になく大雪の中で
のスタートとなりました。

広報しんざ

十二月の初雪が根雪とな
り、暮れには一月下旬を思
わせるほどの積雪となり新
年を迎えるました。当日は大
慶院様の御祓い、遠藤振興
会長の年頭の挨拶、乾杯、
天神囃子と進み、約五十名
の参加者が地域活性の意見
交換をし、笑顔でのスター
トをきりました。



【遠藤会長挨拶】



座保育園グランドにて実施
されました。あいにくの湿
った雪がちらつく中、大慶
院様の御祓いに始まり、よ
いよ点火、悪天候での点火
となりましたが、燃え始め
れば地域の皆様が持ち寄つ
たしめ縄、正月飾りは一氣
に大きな火柱となりまし
た。今年一年の新座地域の
勢いを示すかの様な光景で
した。奉賀会の皆様が準備



火 焼き

してくれたスルメをみんな
で焼き、みんなで分け合い
本年の健康、発展をお祈り
しました。

皆さん注意！

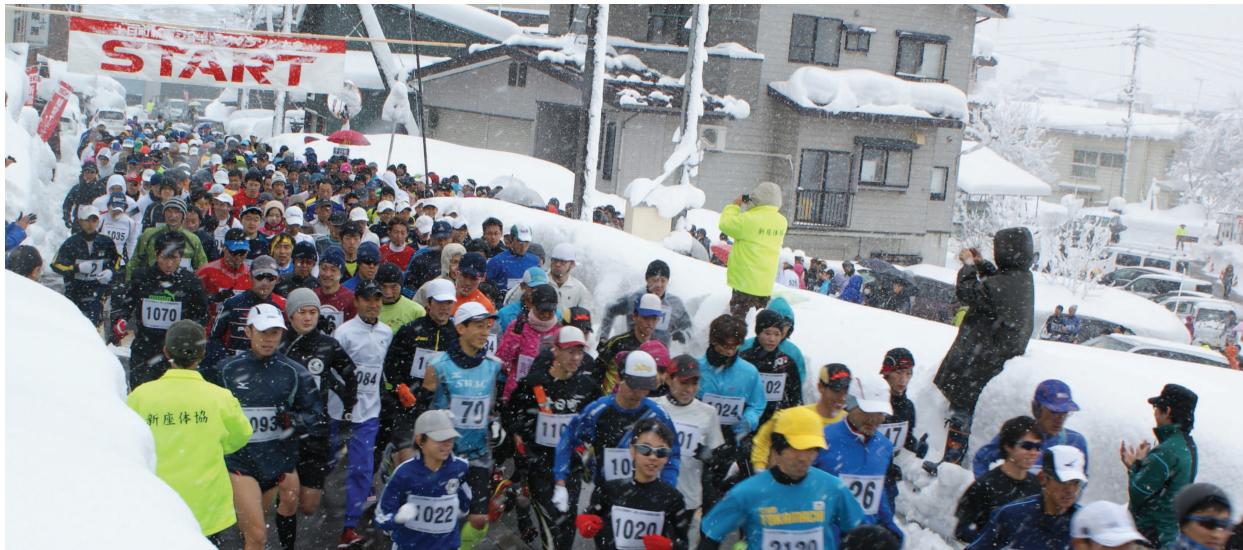
二区の阿部一雄様が十日町福祉会とし
た。長い間、保育園の運営委員長を務められ、今回の増築工事及び十日町福祉会への移行もご尽力なさいました。また新座振興会も、以前会計としてお勤めいただきました。お疲れ様です。

一月に「しんざ駅」のござ
みかごが二回に渡り、不審
火で黒焦げになりました。
いたずらが多く、大変危険
な状態が起きております。
もし不審な行動を見かけま
したら、小さいことでも結
構ですので、振興会の関係
者に報告ください。

警察当局や、市役所関係
者などには連絡し、時折見
回りに立ち寄るよう手配は
しておりますが、何時何分
起きるか判らない状態で
す、なにとぞ皆さんで大切
な新座の玄関口ですので、
安全を見守りましょう。

第36回十日町新雪ジョギングマラソン大会

主催：新雪マラソン大会実行委員会
後援：新座地区振興会



第三十六回十日町新雪ジョギングマラソン大会が一月二日（金曜日）、小雪まじりの中、午前十時二十分に十日町中学校脇からスタートしました。昨年からネットでの参加受付を開始した事から、県外からの参加者が増加して、六百十二人

が参加し過去最高となりました。今回のゲスト選手はセカンドウインドの木下裕美子選手と真鍋未央コーチの二人で、札幌市から鹿児島市までの遠隔地からの選手、二歳から七十九歳までの選手が三キロ、五キロ、十キロ、ハーフマラソンを

が参加し過去最高となりました。今回のゲスト選手はセカンドウインドの木下裕美子選手と真鍋未央コーチの二人で、札幌市から鹿児島市までの遠隔地からの選手、二歳から七十九歳までの選手が三キロ、五キロ、十キロ、ハーフマラソンを

走りました。今回の話題は最年少の二歳八ヶ月の根津彩羽ちゃんの参加で、お母さんと一緒に三キロを走り、三十六分でゴールしました。大会は新座地区住民が運営、餅つきやトン汁サービスでもてなし、心温まる大会として全国に知れ渡っております。



【招待選手】
左右・木下裕美子選手
・真鍋未央コーチ



【市長挨拶】

地域の皆様、毎年ながらご協力、誠にありがとうございます。

コミセン雪下し

一月二十五日（日）に新座コミニティセンターの雪下ろしが行われました。コミニティセンターは耐雪構造なので、よほどの大雪で無ければ雪下ろしの必要はないのですが、今年の雪はたいへん重いとのこと



【雪下し前】

から安全性を考慮しての作業となりました。建物のふちの部分の雪庇については危険が伴うことから、あらかじめ業者から落としてもらい、当日は各区長や副区長をはじめとする振興会役員と保育園の先生や保護者の、総勢三十名余りで作業



【雪下し後】

にあたりました。実際に作業をしてみると非常に重く、大変でしたが、さすがに人数が多くだったので三時間あまりで終了となり、安心して施設を利用できるようになりました。

新座地域の中心部にある新座地域の元気発信の手段として利用し、皆さん遊びにおいて下さい。



し、一年中フルに稼働しているセンターです。今シズンの大雪も過ぎ去り、春になりました。大切な、新座の衆のコミニティーセンターの大清掃が行われました。振興会の役員と公民館委員、約二十名が集まり、窓ガラスや天井の照明、エアコンのフィルターなど、普段できないところの清掃を念入りに行いました。男性陣も普段家でやり慣れているのか手際が良く三時間ほどで終了しました。その際に障子の汚れや破れが目立つたことから張替えをす

年末コミニセン大掃除



ることになり、十二月二十日に作業が行なわれました。大掃除とともに障子もきれいになり、新年を迎えることができました。

『雪像造りは楽しい！』 ODF四C



今年の雪祭りは昨年とどう変わり、当日の土曜日、日曜日は大変良い天気に恵まれ、「スノーランド新座四」や「七和ランド」の広場も盛況だったのではないでしようか。

しかし、私達雪像造りをする者にとっては金曜日まで、ある意味地獄の日々が続きました。雪は沢山すぎるほどありましたが、雨の日や気温の高い日が多く、

なんだ雪像造りは難儀なばかりじゃないか！と思われたのですが、作業後のミーティング（？）は皆ワイヤり（？）をして楽しんでいました。

結果として、今年も素晴らしい賞をいただきましたが、これは、私達だけの力ではなく物心両面から支えていただいた、多くの皆様のおかげと思っており、この場を借りましてお礼を申し上げます。

私達の雪像は、ODF四Cが中心になり造っていますが、O Bの方やメンバーの奥様などがお手伝いに、また他の区からも応援に来ていただいています。今年はまた人数も増え、この流れがもつともっと大きくなつていけばいいなと思っています。

最後になりますが、こんな楽しい雪像造りに、まずはミーティングからで結構ですでの、気軽に参加をお願いして、一緒に雪祭りを楽しみましょう。

雪質は最悪でした。しかも、作業中に晴れ、雨、吹雪と天候が目まぐるしく変わり、作業のしづらい日が多く

にやらせておこうといった気持になつてきました。

十二日（日）に、雪まつり広場『スノーランド新座四』が開催されました。両日とも好天に恵まれ、ODF四Cの雪像も二年連続で【市長賞】を受賞したこともあり、多くのお客様が来場し、盛況な二日間となりました。開催にあたり、協力いたしました実行委員をはじめ、各組長、雪だるま作りに参加していただいた、四区の皆様、ご協力ありがとうございました。また、雪まつり広場に多くの皆様からご奉仕をいただきました。本当にありがとうございます。新座四区の团结力を示すことができたと思います。

まつり広場に多くの皆様からご奉仕をいただきました。本当にありがとうございます。こうした新しい取り組みで、雪まつり広場が一層充実したイベントになればと思っています。来年もご協力を宜しくお願ひいたします。

→新座駅には、十日町中学校の生徒の皆さんが『Sunshine 68』と称した雪像広場を作りました。日頃、元気な挨拶で地域を明るくしてくれる皆さんです。ありがとうございます。



【編集後記】今年も早四分の一が終わるうとしています。早いものです。各諸団体とも年度末さらには新年度の活動に向けて忙しい日々を送っています。新座地域は駅があります。人に優しく住みやすい地域です。地域内には観光資源もたくさんあります。子供達の未来にみんなで考え、みんなで話し合い、みんなで活動していく、住みよい自慢の地域づくりをしたいもの

は、一日目の土曜日が一、八百八十人、二日目の日曜日が七百六十三人、合計二千、六百四十三人となりました。また、土曜日には十日町市と姉妹都市の指宿市から『菜の花レディ』が来

『スノーランド新座四』にご協力ありがとうございました。

